

第23回（2025年度）  
やどかり研究所 報告・交流集会

# 終わらない戦争の記憶と 精神障害者の生活支援

戦後80年の節目に、私たちが考えたいこと

2026年3月28日（土） 9:30-16:30

やどかり情報館 2階ホール

2025年度のやどかり研究所報告・交流集会は2026年3月28日に開催します。  
年度末でお忙しい時期とは思いますが、やどかり研究所会員の皆さんからの研究・実践報告を募集します。

2025年は戦後80年の節目の年にあたり、戦争と障害について、メディア等でもいろいろ取り上げられる機会がありました。一方で、世界を見渡すと戦争は紛争の状況が続いており、かけがえのない命や暮らしが奪われています。第二次世界大戦の反省から生まれた国際連合も財政難を始めさまざまな困難を抱え、十分に機能が果たせないでいます。また、日本では2026年度予算には過去最大の約9兆円の軍事費が計上され、安保三文書の改訂も検討されるなど、「新しい戦前」を危惧する声も聞こえてきます。こうした時期に改めて戦争が人々や社会にどのような影響を与えたのか学びたいと考えました。

今回は長年にわたり「戦争とトラウマ」をテーマに研究を続けている中村江里さん（上智大学）のお話を伺い、考えていきます。中村さんは戦争が人の心や家族、社会にどのような影響をもたらしたのか、特に、アジア・太平洋戦争期の日本兵が負った“見えない傷（トラウマ）”と、その影響が戦後の家族や社会にどう受け継がれたか、その時のケアのあり方などを探っています。そして、戦争の影響は終戦とともに終わるのではないという事実を医療記録・家族の声・歴史資料から丁寧に掘り起こす研究を続けてきました。私たちが日ごろ大事にしているケアのあり方や記録の大切さを考える機会にもなりそうです。



やどかり研究所  
会員募集中

主催 | やどかり研究所

さいたま市見沼区染谷 1177-4 やどかり情報館  
Tel: 048-680-1891 Fax: 048-680-1894  
E-mail: y.kenkyu@yadokarinosato.org

## ○ プログラム

- 9:00 受付
- 9:30 報告／討論 やどかり研究所活動報告  
研究所会員による研究・実践報告
- 12:00 休憩
- 13:00 講演 兵士たちのトラウマと家族（仮）  
中村江里さん（上智大学文学部史学科准教授）
- 14:30 休憩
- 14:45 てい談 歴史に学ぶ見えない苦しみ 私たちが大切にしたいこと（仮）  
中村江里さん  
結城俊哉さん（立教大学コミュニティ福祉学部特別専任教授）  
増田一世（やどかり研究所事務局長）
- 15:30 全体討論
- 16:30 終了

## ○ 参加・申込要項

### 参加について

参加費：2,000 円（研究所会員は 1,000 円）

※当日、会場にてお支払いください

会場：やどかり情報館（さいたま市見沼区染谷 1177-4）

申込方法

QR コードよりお申込みください。 ※受付締切：3 月 21 日（土）

※下記内容を記入のうえ、メールまたは FAX での  
お申し込みも可能です。

（氏名，所属，住所，電話番号，会員・非会員の別）

E-mail：[y.kenkyu@yadokarinoato.org](mailto:y.kenkyu@yadokarinoato.org)

Fax: 048-680-1894



参加申し込み

### 研究・実践報告（演題）募集



演題応募

演題要旨を 400 字以内にまとめ、QR コードまた下記アドレス

<https://yadokarinosato.jp/kenkyu>

より、2 月 28 日（土）までにお申し込みください。

※ 報告時間は 15 分を予定しています。